



大人の研修講座⑥

家庭でのルールづくりを

安心安全に携帯電話やスマートフォンなどのメディアが使用できるよう「家庭でのルールづくり」が大切だとお知らせしてきました。

左の新聞記事は、アメリカで実際にあったとても話題になった出来事を東京新聞が取り上げたものです。「家庭でのルールづくり」の参考になるものだと思います。

この話は、クリスマスプレゼントにスマートフォンをプレゼントした母親と息子との「契約書（約束）」の内容です。翻訳したものを掲載しますので読んでみてください。



2013年1月8日付け「東京新聞に掲載された記事」

グレゴリーへ

メリークリスマス！あなたは今日から iPhone を持つことができます。やったね！あなたは責任感のある利口な13歳なので、このプレゼントはあなたにふさわしいと思います。しかし、このプレゼントを受け取ったからにはそれなりの約束を守ってもらいます。

以下の約束を読んでおいてください。こんなルールがなくても活用能力を守って、技術を享受できる健全な青年であることとわかっていますが、こうすることが私の役割だと理解してくれると信じています。

これら18個のことが守れないようならすぐに iPhone をとりあげますよ。あなたのことを本当に愛しています。これから、あなたと数千のメールをやり取りするのを楽しみにしています。

- 1.これは私の iPhone です。私が買って、あなたに貸してあげています。私ってやさしいでしょう？
- 2.パスワードは常に私に報告してください。
- 3.これは電話です。鳴ったらマナーを守って必ずでて下さい。それがママかパパだったら絶対に出ること。
- 4.学校のある日は午後 7:30 に、休日は午後 9:00 にママかパパに iPhone を渡しなさい。次の朝 7:30 までシャットダウンしておきます。友達の親が直接出る固定電話に電話出来ないような相手ならその人には、電話も SNS もしないこと。自分の直感を信じて、他の家族も尊重しなさい。
- 5.iPhone を学校に持って行ってはいけません。メールでやり取りする相手とは直接会話を楽しみなさい。会話は生きる上で大事なスキルです。
- 6.もしいれに落として水没させたり、地面に落として破損させたり、紛失した場合は、修理費用は自己負担です。庭の芝刈りや赤ちゃんの世話、誕生日でカバーしてください。
- 7.この技術を使って嘘をついたり、人を馬鹿にしたりしてはいけません。ネットいじめに関わるようなこともしないでください。人のためになることを第一に考え、喧嘩に参加しないことです。
- 8.人に面と向かって言えないことを、この携帯を使いメールで言わないでください。

【裏面に続く】

9. 友達の両親の前で言えないようなことをメールでしないこと。自己規制してください。
10. ボルノは禁止です。私と共有出来るような情報をネットで調べてください。もし、わからないことがあるようなら、誰か人に聞くようにしなさい。なるべく私かお父さんに聞いてね。
11. 公共の場では電源を切るか、マナーモードにしなさい。特にレストラン、映画館など他の人としゃべっているときは気をつけなさい。あなたは、だらしのない人ではありません。iPhone がそれを変えるようなことがあってはいけません。
12. あなたや他人の個人的な写真を送ったり、受け取ったりしてはいけません。バカにしてもだめです。あなたは賢いですが、そういうことがしたくなる時期がやってきます。それはとってもリスクが大きく、学校生活だけでなく人生さえも壊してしまう可能性があります。インターネット環境はあなたより巨大で強力です。一度広まってしまったら、解決するのはとっても難しいのです。
13. 膨大な数の写真やビデオを撮らないでください。すべてを記録する必要はありません。経験を大切にしてください。全ては、あなたの記憶に残ることでしょう。
14. ときには iPhone を家に置いて行きなさい。iPhone はあなたの人生でもあなたを拡張するものでもありません。携帯なしで生活することを覚えてください。携帯を失うことを怖がるような依存症になってはいけません。
15. 友達が聴いているような平凡な音楽ではなく、クラシックや前衛的な音楽をダウンロードして聴いてください。現在は昔と比べ音楽を簡単にダウンロードしたり、聴けたりするようになりました。この環境を活用してあなたの視野を広げてください。
16. 言葉ゲームや難しいパズルを解いて、脳を鍛えましょう。
17. あなたの周りで起きることを良く見てください。窓の外を見て鳥の声を聞いて、散歩に出かけ、知らない人とも話すようにしましょう。グーグルに頼らないで探し求めましょう。
18. 問題があるようなら、iPhone を没収します。そして一緒にそのことについて話し合います。またやり直しましょう。あなたと私はいつも何かを学んでいます。私はあなたのチームメイトです。一緒に答えを出して行きましょう。

これらの約束を守ってくれることを願っています。これらは iPhone だけでなく、人生にも通じることです。あなたは早く変わり続ける世界のなかで成長していきます。刺激的で魅力的な世界です。できるだけシンプルに物事を考えて行ってください。自分自身の力強く大きな意思やこころを信じて、機械や目新しい道具なんかには負けないでね。

あなたを愛しています。iPhone を楽しんでね。メリークリスマス！

XXXX 年〇月〇日

母さんより

スマートフォンの入っていた箱にそっと入っていたそうです。息子のグレゴリー君はこの契約書にサインしました。

新聞の最後に、下田博次・群馬大学名誉教授は、日本の現状について「・・・ ネットのことがよく分からないまま、好き勝手に子どもに使わせている。文科省もネットの危険性を十分理解していない」と嘆いた上で、「米国では子育ての責任は家庭にあるとの信念のもと、子どもたちのネット・携帯電話利用問題を考えている。日本の親たちが、子どものメディア管理能力を養わないと、社会全体に大きな禍根を残す」と警告されています。

是非これを参考にして、「家庭でのルールづくり」を実行してみてください。



家庭でのルールづくりを

具体的に「家庭のルール」を作成してもらうための資料を掲載いたします。参考にしてご活用ください。

家庭ルールの4つのポイント

- ①一方的な押し付けにならないように子どもと話し合いながらつくりましょう。
- ②必ず守れなかった時にどうするのか決めておきましょう。責任についての学習です。
- ③あまり多いと覚えられないので、子どもの状況に応じた数にしましょう。
- ④みんなの目にする場所に貼っておきましょう。

家庭でのルールづくりの例

我が家のルール（政府広報）

- 困ったときにはすぐに相談する
- 利用する時間を決める
- 利用する場所を決める
- 暗証番号は親が管理する
- サイトに登録する場合は事前に親に相談する
- お金がかかる場合は事前に相談する
- 名前や顔写真、学校名などは書き込まない
- 知らない人のメールに返信しない
- 他人の悪口を書き込まない
- 月に1度、利用状況を保護者と確認する
- ルールを破ったら、一時利用禁止とする

家庭ルール（情報教育研究所）

- 相手の迷惑にならないように使用時間を決める。
- 食事中にメールをしない。
- 21時以降は電源を切る。
- 自分の部屋に持ち込まない。
- 有料サイト契約はその都度親の了解を得る。（ダウンロードなど）
- 毎月の携帯電話の利用料金明細書を必ず親と確認する。
- 大切なことは会って伝える。
- メールやメッセージは読む人の立場になって読み返してから送る。
- 自分がいやだと思ふことは書かない。
- ツイッターやフェイスブックなどへの無責任な投稿は絶対しない。
- 大げさな表現、根拠のない情報は配信しない。
- 著作権を守る。
- ネット上に個人情報（名前・住所・電話番号・写真など）を書き込まない。
- フィルタリング契約をする。
- ウィルス対策ソフトを入れる。
- IDやパスワードを安易に人に教えない。

親子ケータイ契約書【中学生版】

山形大学加納准教授作成

- ①利用時間は1日1時間以内。
- ②食事中、勉強中、入浴中には利用しない。
- ③ケータイのフィルタリングは、はずさない。
- ④ネットへのアクセスは家族のいる居間です。
- ⑤夜9時以降は、家族のいる居間のケータイ置き場に置く。
- ⑥利用料金は1ヶ月3千円以内にする。



我が家のルール（ベネッセ）

- 自分の電話番号やメールアドレスをむやみに教えない。
- 自分の電話番号やメールアドレスを教えたら相手は誰かを保護者に伝えること。
- 夜9時以降は携帯電話をさわらない。
- 勉強中、食事中は電話もメールもしない。
- 携帯電話の保管、充電場所は居間にする。
- 携帯電話は自分の部屋に持ち込まない。
- 携帯電話の賢い使い方は家族で教え合う。
- 家にいる時は、家の電話を利用する。
- メールを送るのは1日3回までとする。越える場合は理由を保護者に伝える。
- 必要のないサイトにアクセスしない。
- おかしなメール、知らない相手からのメールは必ず保護者に見



北海道青少年有害情報対策実行委員会

- あやしいメールは相手にしません
- 携帯電話は自分の部屋に持ち込みません
- 使う時間は夜〇時までにはします
- 携帯電話の1ヶ月の使用料金は〇〇〇〇円までにします
- 公共の場所での携帯電話の使い方のマナーを守ります
- 自分や友達の個人情報絶対に書き込みません
- 会員登録する時は保護者の了解を得ます
- メールや掲示板にウソや人を傷つける内容を書き込みません

5つの例を掲載しました。ルールは家庭の事情や子どもの年齢によって違ってきます。ここでは、ルールを幅広く取り上げています。自分の家の事情や子どもの年齢に合わせてルールの変更をしたりすることで「我が家のルール」を作りましょう。

禁止事項の羅列になってしまいがちですが、親としてあなたのことがとても心配だということを十分に伝えましょう。ルールづくりの時には、実際に身近で起こった犯罪の話をしたり、ルールづくりの必要性を話し合ったりすることが大切です。

携帯電話やスマートフォンでの「家庭のルールづくり」について参考になる例をあげてみました。我が家では、どちらも利用させていないというご家庭は、是非、「テレビ視聴ルール」「ゲームのルール」などを作成してみてください。

こうしたメディア接触は、『ONとOFF』のメリハリが一番重要です。長時間化に歯止めをかけましょう。また、特にインターネットの利用は危険性がいっぱいであることを子どもたちに教え、ルール化しましょう。



みんなで取り組もう！！



別紙「我が家のルール」を綴じこんでいますので、各ご家庭でこの用紙を使っていただき、子どもたちと一緒に話し合っ規則づくりをしてみてください。この取組は日南町の子どもたちにとってとても大事だと思っています。子どもたちを安心安全な環境で生活させましょう。みんなで取り組みましょう。この冬休みが「ルールづくり」の絶好のチャンスです。